

ORANGE DAYS



☆「お願いします」「ありがとうございました」

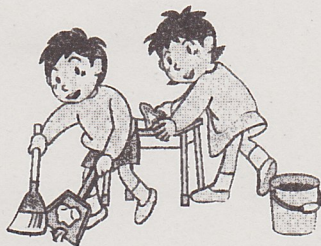
先生にプリントや提出物を渡すとき、無言で渡していました。先生にアドバイスをもらったときや何かをしてもらったとき、何も言わずに立ち去ってしまいました。北中に来て、私が最初に感じた違和感でした。

最近、これらの言葉を言えるようになってきました。とてもさわやかに感じます。私は毎日のように言い続け、できないとやり直しをさせ、少し窮屈に感じた人もいます。これは、先生がえらいからしなさい、ということではありません。これから社会に出て行くうえで、礼儀として大切なことです。感謝の気持ちを持って言えれば、言う方も言われた方も、お互いにとてもさわやかな気持ちになれますね。笑顔で言えれば、なおすばらしいです。



授業の始まりには「お願いします」、終わりには「ありがとうございました」と言っています。さて、どのような気持ちで言っているのでしょうか？形式的に言うのではなく、本心から言えるといいですね。

☆教室の床



給食の準備のとき、床に汁が垂れてしまったりご飯粒が落ちてしまったりすることがあります。日直が配膳台をきれいにしてくれます。しかし、床は誰も何もしません。床にこぼれた汁の上に、ほこりやゴミがたまり、教室の床は黒くなっている部分がけっこうあります。こぼさないようにし、こぼしたらその人が拭くようにしようと話をしました。

掃除の時間、高橋映さんが「教室の床の汚れを落とした方がよいですか？」と尋ねてきました。「いいところに気づいた！よろしくお願いします。」と私が言いました。教室掃除の高島さん、高橋寧さん、中橋さん、塚越君が、水拭きでふき、とてもきれいになりました。以前は、森本さん、山田さん、養田さんが床を拭き、この汚れを落としてくれました。あれから1ヶ月ほど経ち、再び汚れてしまった床。こぼさないように、一人一人の意識が高まってほしいです。教室は、みんなが過ごす場所です。いつでもきれいであるべきです！

☆家庭学習

今週から、英語のプリントが課題として出ています。それで1ページ分です。さらにもう1ページ学習すると、合計2ページです。みんなしっかりと2ページやっています。中間テストが終わっても努力を継続できていて、みんながんばりやです。